

## 岩手県中部沿岸から得られた日本初記録

### の後鰓類 *Archidoris odhneri*

(軟体動物: ドーリス科)

萩原清司\*・田中富士春\*\*

First record of sea slug *Archidoris odhneri* (Mollusca: Dorididae) from central coast of Iwate Pref.

HAGIWARA Kiyoshi\* and  
TANAKA Fujiharu\*\*

キーワード: シロクマウミウシ, 後鰓類, ドーリス科, 分布, 初記録

Key words: *Archidoris odhneri*, Opisthobranchia, Dorididae, distribution, new record

#### はじめに

*Archidoris odhneri* (MacFarland, 1966) はアラスカからカリフォルニアにかけての北アメリカ太平洋岸に分布することが知られるドーリス科 (Dorididae) の後鰓類 (Opisthobranchia) である。国内分布する同属の種として *A. tricolor* サンシキウミウシや *A. sugashimae* スガシマサンシキウミウシが知られている。

本属を含む科名についてはハケジタウミウシ科 (Archidorididae) が用いられる場合もあるが、ここでは奥谷 (2000) に従った。

この度、岩手県中部に位置する宮古市の沿岸から *A. odhneri* と同定される後鰓類3個体が、著者の一人、田中によって採集された。本種はこれまで日本沿岸から標本に基づいた報告がされておらず、和名がないことから今回の採集標本に基づき新称シロクマウミウシを提唱する。

採集した個体は、生時の色彩・斑紋を記録するため水中で生態写真を撮影し、一旦海水に浸した状態で冷凍し、10%ホルマリン水溶液中で解凍・固定、または70%エタノール中で解凍・固定の2通りの方法を用いて標本とし、標本の計測は固定後に行った。これらの標本は横須

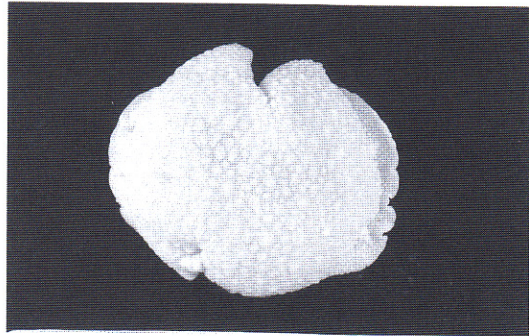


Fig. 1 *Archidoris odhneri*, YCM-H8763, fixed specimen.



Fig. 2 *Archidoris odhneri*, YCM-P8762, 13. Sep. 2003., depth 6m, Rias-Harbor-Miyako, Iwate.

賀市自然・人文博物館軟体動物資料 (YCM-H) として保存されている。

*Archidoris odhneri* (MacFarland, 1966)

(新称: シロクマウミウシ)

*Archidoris odhneri*, MacFarland, 1966 (California)

*Archidoris odhneri*; Debelius, 1998 (California)

材料: YCM-H8762 (1個体, 体長83.7 mm, Fig. 2) 2003年9月13日, 宮古市リアスハーバー宮古, 水深6 m, 水温19.6℃, 田中富士春採集。YCM-H8763 (1個体, 体長81.8 mm, Fig. 1, Fig. 3) およびYCM-H8764 (1個体, 体長67.6 mm), 2004年8月8日, 宮古市浄土ヶ浜, 水深5 m, 水温21.5℃, 田中富士春採集。

形態: 体は楕円型で大型になる。体表はやや硬く, 背面

\* 横須賀市自然・人文博物館 Yokosuka City Museum, Yokosuka, 238-0016

\*\* ダイブネット宮古 〒027-0064 岩手県宮古市宮園5-14

原稿受付 2004年10月30日 横須賀市博物館業績591号

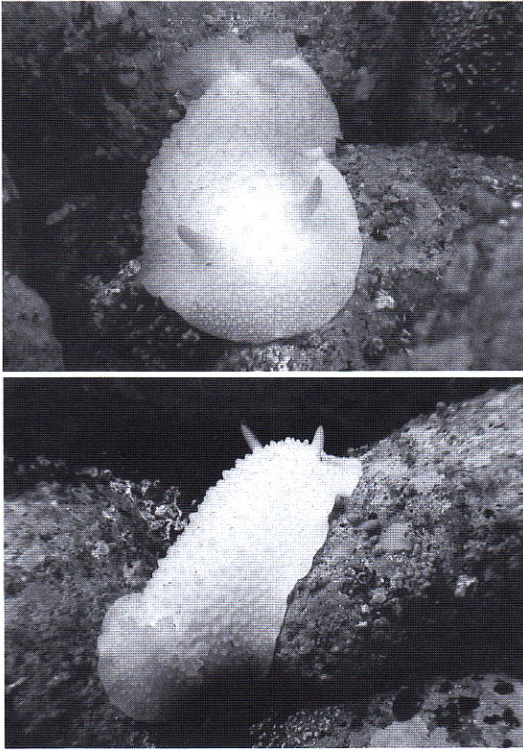


Fig. 3 *Archidoris odhneri*, YCM-P8763, 8. Aug. 2004., depth 5m, Jodo-gahama, Miyako, Iwate.

がよく膨らむ。背部には一面に大小の瘤状突起が散在する。触角は円錐形で、二次鰓の鰓葉は細かく分枝して房状となる。

**生鮮時の体色：**一様に白色または淡黄色で、斑紋はない。

**固定後の体色：**瘤状突起を除く背面は若干の透明感があるが大きな変化はなく、ほぼ一様に白色。

**生息状況：**岩手県中部沿岸では、これまで8～9月に水深5～6mの浅海に出現し、港内や内湾の岩礁またはコンクリート護岸上を匍匐しているところが観察されている。しかし、観察されている個体は全て体長60mm以上で、小型個体の生息状況については確認されていない。

**分布：**カリフォルニア沿岸～アラスカ沿岸 (Debelius, 1998), 岩手県中部沿岸 (本報告)。冷水性で寒流の影響

を受ける水域に分布するものと考えられる。

**他種との識別：**本種には触角、二次鰓および背面の瘤状突起の形状が類似するサンシキウミウシ、スガシマサンシキウミウシ、*Homoiodoris japonica* ヤマトウミウシ、*Cadlina japonica* カドリナウミウシ、*Cadlina luteomarginata* などの近似種がある (鈴木, 2000; 中野, 2004)。これらの近似種はいずれも体長60mm以内の中型種であること、体色は*C. luteomarginata*を除いて黄褐色～暗褐色で斑紋を有することが多いこと、白色個体の出現する*C. luteomarginata*でも体長45mm内外であること、外套膜の縁辺や瘤状突起が黄色を呈することなどの特徴によって本種との識別は容易である。

**備考：**MacFarland (1966) および Debelius (1998) はカリフォルニア沿岸では体長200mmに達するとされる大型種であるとしているが、本報告に用いたYCM-H8762 (Fig. 2) およびYCM-H8763 (Fig. 3) においても生時には伸長すると体長120mm以上あったものと推定される。

インターネット上で紹介されている水中写真の中にも本種と思われる個体が見出されることがあり、それらによると北海道沿岸にも分布する可能性が高い。

新称シロクマウミウシは、大型種であること、体色が一様に白色または淡黄色であり、哺乳動物のシロクマ (ホッキョクグマ) を連想させることに由来する。

本報をまとめるにあたり、現地での採集に協力をいただいたダイブネット宮古および宮古漁業協同組合の方々へ厚く御礼申し上げます。

#### 引用文献

- Debelius, H. 1998. *Nudibranchs and sea snails Indo-Pacific field guide*: 321. IKAN-Unterwasserarchiv.
- MacFarland, F. M. 1966. Studies of opisthobranchiate mollusks of the Pacific coast of North America. *Mem. California Academy of Sci.*, 6: 1-546.
- 中野理枝 2004. 本州のウミウシ. 304ページ. ラトルズ.
- 奥谷喬司編著 2000. 日本近海産貝類図鑑. 1173ページ. 東海大学出版会.
- 鈴木敬宇 2000. ウミウシガイドブック2. 178ページ. 阪急コミュニケーションズ.